

丸山真男

2014 年追試

問 8 次の文章は、戦後のあるべき社会や生き方についての主張の記述である。

～ に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

は、「何となく何物かに押されつつ、ずるずると」開戦に至り、戦争をやめることができなかつた戦前・戦中の日本社会に、無責任の体系を見いだし、批判的な検討を加えた。そして、戦後の社会において、 による民主的な市民社会の形成を唱えた。一方、竹内好は、中国の近代化に、日本とは異なる可能性を読み取り、日本の近代化の優等生的な性格を批判し、アジアに開かれた日本のあり方を模索した。

また、坂口安吾は、人間本来の姿に戻ることを と呼び、偽り飾ることのない「ただの人間になる」べきだと主張した。時流に乗って民主主義を主張する人も多くなか、彼は一人ひとりが新たな戦後を反省的に始めるべきだと説いたのである。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-------|---|----|
| ① | ア | 丸山真男 | イ | 労働者階級 | ウ | 諦念 |
| ② | ア | 丸山真男 | イ | 労働者階級 | ウ | 墮落 |
| ③ | ア | 丸山真男 | イ | 近代的主体 | ウ | 諦念 |
| ④ | ア | 丸山真男 | イ | 近代的主体 | ウ | 墮落 |
| ⑤ | ア | 小林秀雄 | イ | 労働者階級 | ウ | 諦念 |
| ⑥ | ア | 小林秀雄 | イ | 労働者階級 | ウ | 墮落 |
| ⑦ | ア | 小林秀雄 | イ | 近代的主体 | ウ | 諦念 |
| ⑧ | ア | 小林秀雄 | イ | 近代的主体 | ウ | 墮落 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問8	27	④	3

2007 年本試

問 5 近代日本がなぜ軍国主義と戦争の惨禍に行き着いたのかを問い、戦後の日本に民主社会を確立する道を模索した思想家に、丸山真男がいる。彼が戦後の日本人の課題と考えたことを説明した記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 西洋の哲学と東洋の儒教とを融合させ、世界に通じる普遍的な道徳を日本という個別の場で実現できる、新しい国民道徳を確立しなければならない。
- ② 外来の思想をとって伝統を捨てるのではなく、逆に伝統に固執するのでもない、自己本位の能力に基づいた内発的な開化を推進しなければならない。
- ③ 日本という風土の中で培われてきた文化と歴史を尊重し、日本民族の独自性を守りつつ、西洋の学問・技術の長所を採用していかなければならない。
- ④ 他者を他者として理解し、また自分の中に巣くう偏見につねに反省の目を向けることのできる、自主独立の精神をもつ個を確立しなければならない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 5	35	④	3